

生活情報基盤研究機構の これまでとこれからのプ ロジェクト

2022.02.06

森 祐佳

一般社団法人生活情報基盤研究機構

概要

生活情報基盤研究機構はこれまでも Menhera.org を冠していくつかのプロジェクトを実行してきましたが、このたび2023年01月24日付で一般社団法人生活情報基盤研究機構として法人化したことにより、今後は一層組織化されたプロジェクトを行っていく所存です。

共通するゴール

1. 学術や文化的な生活を振興する。
2. プライバシーや多様性を擁護し、統合された社会を目指した情報基盤を設計する。
3. 実験的で、商業ベースでは難しいような情報基盤の基礎的な研究開発を、コミュニティによる非営利ベースで行う。

現在の事業内容

- 学術や文化的な生活を振興し、多様性のある統合された社会を目指し、個人のプライバシーを尊重することを目的とした情報基盤・デジタルメディアの研究開発
- 上記のプロジェクトをホストするために必要なITインフラの整備・維持・運営

これらの取り組みを集約し、組織的に行うことをこの法人は目的としています。

プロジェクトの沿革

生活情報基盤研究機構は、2020年ごろに Menhera.org の名のもとにプロジェクトを開始しました。その後、生活情報基盤研究機構という正式な組織名を付け、2023年1月にはとうとう法人化するはこびとなりました。生活情報基盤研究機構は、小規模なIT企業のようなプロジェクトも行っていますが、理念としては、非営利で、例えば商業ベースでは開発が難しいような高度に実験的な研究開発を行うことを目指しています。

2020年ごろから、森が実用性を兼ね備えたメディアアート作品をいくつか公表しています。また、そのころから Menhera.Wiki (現 <https://menhera.wiki/>) にて、医学などに関する情報を気軽に交換できる場づくりを行う試みも行っています。(現在はサイトリニューアル中のため内容が少なくなっています。)

特記すべきプロジェクトの例として、メディアの融合を目指し、公衆電話からTwitterを利用することのできるクライアントを開発したり、リアルタイムで入力している文字が見えるチャットアプリ (Menhera Chatspace/Icquai) を開発したことが挙げられます。

(<https://icquai.com>) これらにおいても、プライバシーの擁護は中心的な重要課題でした。

2021年に、安全で分離されたコンテナという機能を使いやすくすることでオンラインでのプライバシーを守ることを目標として、Firefox拡張機能である Container Tab Groups を開発開始しました。

2022年からは、森が中心となって、次世代ソーシャルメディア枠組ワーキンググループをスタートさせ、プライバシーやオンラインでの安全性を守る統一されたソーシャルメディア (日本語でいう SNS) の枠組を作るべく、基礎的な研究開発を行っています。これは、ソーシャルメディアという名ではありませんが、Wiki や、メッセージのやりとり、あるいは Twitter のようなマイクロブロッキングや、ウェブサイトの作成を同じ統一され仕組みでできることを目指していて、それによって学術における情報の交換や、安全な日常生活での情報のやりとりができるようになる予定です。また、このソーシャルな基盤を生かし、実験的なメディアアートや自動作曲など芸術プロジェクトを支援することも目標としています。

今後のプロジェクト

現在は次世代ソーシャルメディア枠組ワーキンググループにおける、ソーシャルメディアの開発に必要な設計を進める研究に最もフォーカスしています。

また、現在、既存のFirefoxブラウザの拡張機能づくりの経験と基盤を生かし、Zombie Navigator という名のもとに、一般のユーザでも気軽にウェブブラウザを自動化できる拡張機能づくりを進めています。これにより、技術にそれほど詳しくない利用者でも、自分がWebを使って行いたいことを簡単にできるようにすることで、Web文化の振興を目指しています。

更にこれらのハードインフラを用い、実際に小中学生から生涯学習までの学び/研究の場を設けることを予定しています。

今後、新たなメンバー間でのコミュニケーションが促進されることで、新しいアイデアが生まれることが期待されています。

マイルストーン

I. プロジェクトの組織化 (2023年上期)

法人化しましたので、今後はプロジェクトをより組織的に進めていきます。

II. ソーシャルメディアに使う基礎的な技術の選定および基本設計 (2023年下期)

次世代ソーシャルメディア枠組ワーキンググループにおいて、将来の本格的なソーシャルメディアの開発に向け、使用する基礎的な技術を選定し、将来のソーシャルメディアの大まかな設計を完成させます

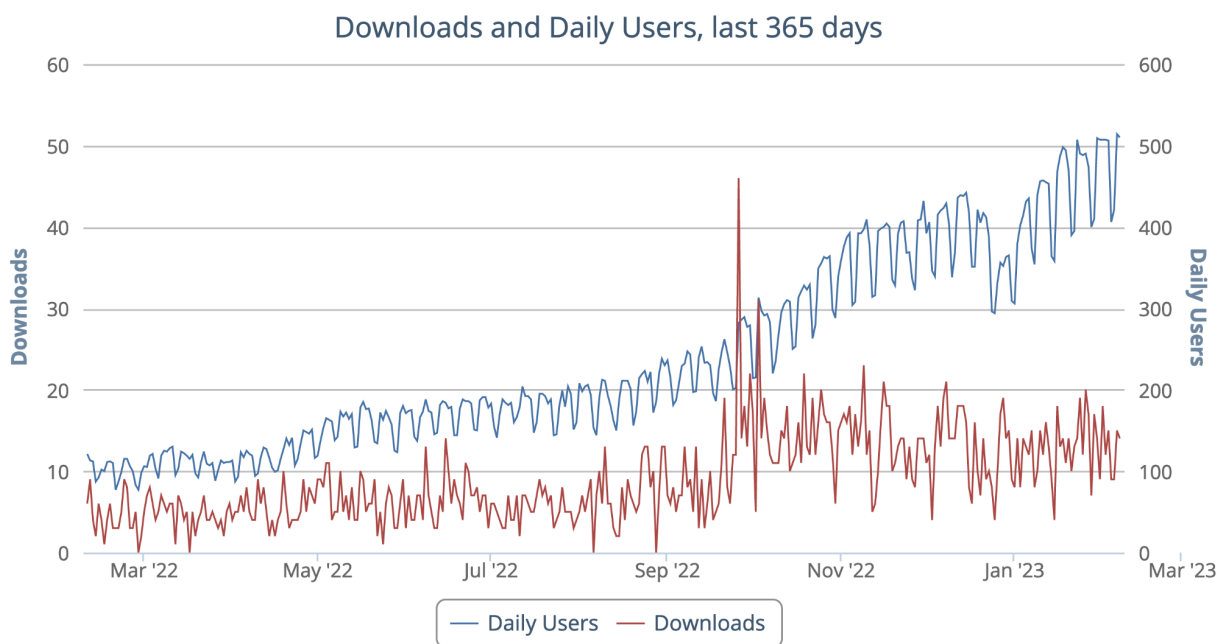
III. 最も基本的なソーシャルメディアの完成および試験運用 (2024年)

最も基本的なソーシャルメディアの基盤を完成させます。また、それによって何が実現可能か模索していきます。

プロジェクト紹介

Container Tab Groups

Container Tab Groups (コードネーム: TabArray) は、安全に分離されたFirefoxのコンテナという機能を、タブのグループとして簡便に利用できるようにするブラウザ拡張機能 (Firefox に対応) です。2021年に開発開始し、現在では全世界に約500のアクティブ利用者がおり、増加中です。また、多言語に対応し、英語の他、日本語やエスペラントなど7つの言語で利用可能です。オンラインでのプライバシーと簡便性・利便性を両立することで、より多くの個人のプライバシーを擁護することを目指しています。



92 Weekly Downloads
3,245 in last 365 days

472 Average Daily Users
238 average in last 365 days

過去1年間の利用者の伸びおよびダウンロード数 (2023-02-09)

次世代ソーシャルメディア枠組ワーキンググループ (Next-generation Social-media Frameworks Working Group; NSFWg)

次世代のソーシャルメディア (SNS) の基盤となる技術の開発を目指しているチームです。現在参加者を募っています。プライバシーやオンラインでの安全性を守る統一されたソーシャルメディアの枠組を作るべく、基礎的な研究開発を行っています。これは、ソーシャルメディアという名ではありますが、Wiki や、メッセージのやりとり、あるいは Twitter のようなマイクロブローギングや、ウェブサイトの作成を同じ統一され仕組みでできることを目指していて、それによって学術における情報の交換や、安全な日常生活での情報のやりとりができるようになる予定です。また、このソーシャルな基盤を生かし、実験的なメディアアートや自動作曲など芸術プロジェクトを支援することも目標としています。

これにより、学術や文化的な生活を振興することと、個人のプライバシーを尊重することを両立できる社会を目指していきます。

組織名について

生活情報基盤研究機構という名前には、情報基盤の生活にとっての必要不可欠性が意味されています。情報基盤は、私たちの生活にとって不可欠なものです。Menhera.org は生活情報基盤研究機構のブランド名であり、そのプロジェクトの総称です。

Menhera.org という名前

Menhera.org の Menhera という名前は、日本語のメンヘラ (menhera) という、本来は何らかの精神疾患がある人々や、そういうふうには振る舞っている人々を指す俗語に由来します。私たちは常に多様な人々を受け入れるインクルーシブな組織でありたいと願い、このプロジェクト名を採用しました。また私たちは日々のコミュニケーションに関して神経質です。私たちは私たちのオンラインでの活動が安全なままであってほしいと願っています。Menhera.org という名前は私たちのプライバシーや安全性に関する神経質なまでの慎重さも表しています。

事業継続計画

本機構では、サーバは首都圏エリア (東京・茨城) と北海道エリアに分散して設置しています。これにより大震災などのときに、サービスが中断しないことを目指しています。また、オンライン中心の運営により、拠点の被災に備えます。